

7月のピックアップコーナー

「気 候」

稲垣 宏行

近年、世界的に気候が乱れているように感じます。アメリカ南部では今年4月、竜巻による被害が発生しましたが、それから一月後の5月下旬には中西部でも複数の竜巻が発生しました。ロシアでは去年の8月、最高気温が30度を超え、それによって大規模な森林火災も起こりました。日本では予測不能な局所的豪雨を指すゲリラ豪雨と呼ばれる現象が起こりました。また、ヒートアイランド現象という言葉も聞かれるようになりました。

これらの異常気象の中でも世界的に問題とされているものが地球温暖化現象です。先ほど挙げた異常気象とも繋がりがあがるもので、そのことから、2005年に発効した京都議定書に大きな関心が集まりました。

夏は熱中症などで体調を崩しやすく、食中毒も発生しやすい時期です。また、台風などによる災害も懸念されます。異常気象にどう対処していくべきかが強く意識される季節です。室内の温度調節、その場の環境に適した服装を心がける。遠出の際は天気動向に日頃から注意を払う。そういった身近に出来る努力も対策の一つと考えられます。

このような異常気象について知ろうとするならば、図書館のピックアップコーナーを是非ご利用下さい。

いながき ひろゆき（司書・係・情報サービス課）

